

第80回 全日本学生体操競技選手権大会 要項(案)

主催	全日本学生体操連盟		
主管	東北・北海道学生体操連盟 東海・北信越学生体操連盟 九州学生体操連盟	関東学生体操連盟 関西学生体操連盟	群馬県体操協会(予定)
後援(予定)	(公財)日本体操協会 群馬県教育委員会 高崎市教育委員会		
協賛(予定)	セノー株式会社 相好株式会社 ジムスポーツ	京王観光株式会社 株式会社ササキスポーツ 有限会社アイシス	ミズノ株式会社

1. 日程(予定)

	2部校日程	1部校日程
8月	セッティング	
21日(金)	監督会議 本会場練習 サブ会場練習	本会場練習
		審判会議
22日(土)	開始式 本会場練習 サブ会場練習 団体、個人総合選手権決勝 (種目別選手権予選)、	監督会議 本会場練習 サブ会場練習
23日(日)	団体、個人総合選手権決勝 (種目別選手権予選)、 表彰式	サブ会場練習 団体、個人総合選手権決勝 (種目別選手権予選)
24日(月)	本会場練習 (種目別選手権決勝出場選手)	団体、個人総合選手権決勝 (種目別選手権予選) 本会場練習 (種目別選手権決勝出場選手)
25日(火)	種目別選手権決勝	表彰式 種目別選手権決勝 カッティング、閉会式

※サブ会場(器具を含む)を設置する予定です。

※各班には「本会場練習」と「サブ会場練習」が1回ずつ割り当てられます。

(2部①班を除く)

※上記日程は運営上の都合により変更となる場合があります。

2. 会場

会場	高崎アリーナ
所在地	〒370-0847 群馬県高崎市下和田町4丁目1-18
電話番号	027-329-5447

3. 参加資格

- (1) (公財) 日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和8年度「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」を済ませた者。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟(連盟登録)」が4回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学(短期大学、専修学校、高等専門学校を含む)の者。
- (3) 令和8年度の1部校で東日本・西日本学生体操競技選手権大会に出場した大学(以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す)。なお、個人の出場枠は、令和7年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する(以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す)。

<男子>

・チーム	12校
令和7年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より	
・チーム個人選手	42名
1～3位校	各5名
4～6位校	各4名
7～9位校	各3名
10～12位校	各2名

<女子>

・チーム	10校
令和7年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より	
・チーム個人選手	30名
1～3位校	各4名
4～7位校	各3名
8～10位校	各2名

- (4) 令和8年度の2部校で東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人(以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す)。

<男子>

・チーム	12校	・令和8年度東・西インカレ団体総合選手権上位各4校 ・上記8校を除き、令和8年度の東・西インカレ団体総合得点を比較した上位4校
・チーム個人選手	18名	・令和8年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より 上位各1～3位校 各2名 上位各4位校 各1名 得点比較上位4校 各1名
・予選通過個人選手①	20名	・本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で令和8年度東・西インカレ個人総合選手権上位各10名
・予選通過個人選手②	4名	・本大会チーム出場大学以外の大学に所属し、上記予選通過個人選手①を除いた選手で、令和8年度の東・西インカレ個人総合得点を比較した上位4名

<女子>

- ・ チーム 10校 ・ 令和8年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各3校
・ 上記6校を除き、令和8年度の東・西インカレ団体総合得点を比較した上位4校
 - ・ チーム個人選手 12名 ・ 令和8年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より
上位各1、2位校 各2名
上位各3位校 各1名
得点比較上位1、2位校 各1名
得点比較上位3、4位校 各0名
 - ・ 予選通過個人選手① 14名 ・ 本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で令和8年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各7名
 - ・ 予選通過個人選手② 4名 ・ 本大会チーム出場大学以外の大学に所属し、上記予選通過個人選手①を除いた選手で、令和8年度の東・西インカレ個人総合得点を比較した上位4名
- ※ 東西それぞれにおいて、チーム通過校（男子4校、女子3校）が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手①を東または西に6名増やすこととする。
- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手②の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、大会申し込み一次締め切りまでとする。
- ※ 同じ大学に所属する6名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。なお、この規定によりチーム出場する大学にチーム個人選手の割り当ては行わない。
- ※ 大会申し込み一次締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。
- (5) チーム個人選手については、各大学へ割り当てられた人数内であれば、各種目の演技者を大学が任意に決定してよい。ただし、各大学への割り当て人数に3名を加えた人数が出場登録者数の上限となる。また、全種目出場しない選手は、種目別選手権のみの参加とする。
- 例) チーム個人選手の枠が2名の場合、出場選手5名の登録、各種目2名の演技実施が可能。この場合、5名分の個人参加費が必要となる。

4. 該当校及び参加人数

- ・ 1部校男子チーム12校（令和8年度の東・西インカレの出場を要する）
- ・ 1部校男子チーム個人選手42名（令和7年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より）
 - 1. 順天堂大学 5名
 - 2. 仙台大学 5名
 - 3. 駒澤大学 5名
 - 4. 日本体育大学 4名
 - 5. 鹿屋体育大学 4名
 - 6. 日本大学 4名
 - 7. 大阪体育大学 3名
 - 8. 筑波大学 3名
 - 9. 福岡大学 3名
 - 10. 早稲田大学 2名
 - 11. 国士舘大学 2名（1部昇格校）
 - 12. 慶應義塾大学 2名（1部昇格校）
- ・ 1部校女子チーム10校（令和8年度の東・西インカレの出場を要する）

- 1 部校女子チーム個人選手 30 名 (令和 7 年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)

1. 日本体育大学 4 名	6. 日本大学 3 名
2. 順天堂大学 4 名	7. 東海大学 3 名
3. 筑波大学 4 名	8. 仙台大学 2 名
4. 日本女子体育大学 3 名	9. 中京大学 2 名 (1 部昇格校)
5. 東京女子体育大学 3 名	10. 国士舘大学 2 名 (1 部昇格校)
- 2 部校男子チーム 12 校 (令和 8 年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各 4 校)
(上記 8 校を除き、令和 8 年度の東・西インカレ団体総合得点を比較した上位 4 校)
- 2 部校男子チーム個人選手 18 名 (令和 8 年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より)

東インカレ 上位 4 校	西インカレ 上位 4 校
1. 2 名	1. 2 名
2. 2 名	2. 2 名
3. 2 名	3. 2 名
4. 1 名	4. 1 名
得点比較 1, 2 校	得点比較 3, 4 位校
1. 1 名	3. 1 名
2. 1 名	4. 1 名
- 2 部校男子予選通過個人選手① 20 名 (令和 8 年度の東・西インカレ個人総合選手権成績より)

東インカレ上位 10 名	西インカレ上位 10 名
1.	1.
2.	2.
3.	3.
4.	4.
5.	5.
6.	6.
7.	7.
8.	8.
9.	9.
10.	10.
- 2 部校男子予選通過個人選手② 4 名 (予選通過個人選手①を除く東・西インカレ個人総合選手権得点上位 4 名)

1.	3.
2.	4.
- 2 部校女子チーム 10 校 (令和 8 年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各 3 校)
(上記 6 校を除き、令和 8 年度の東・西インカレ団体総合得点を比較した上位 4 校)
- 2 部校女子チーム個人選手 12 名 (令和 8 年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より)

東インカレ 上位 3 校	西インカレ 上位 3 校
1. 2 名	1. 2 名
2. 2 名	2. 2 名
3. 1 名	3. 1 名

<男子> 2025年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適応する。

<女子> 2025年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) チーム編成について

- ・チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・1・2部校男女とも、1チームは最大6名（最小5名）とする。

(3) 種目別選手権決勝について

・種目別選手権決勝には、1・2部校の男女とも、種目別選手権予選における各種目得点の上位8名が出場する。なお、各種目1大学3名までとする。また、3名が出場する大学にリザーブ選手は割り当てない。

・通過者会議において欠場の申し出があった場合は、次点選手を順に繰り上げて出場選手とし、さらにその下位2名をリザーブ選手とする。なお、出場選手の最終欠場申し出は、全種目共通で「前半種目の本会場練習開始の1時間前まで」とし、この時点で欠場が出た場合はリザーブ選手を順次繰り上げる（リザーブ選手は欠場選手の組に入る）。

・追加コーチADの申請及び配布は通過者会議にて行う。

(4) 順位の決定

- ・団体総合選手権：各種目上位5名の得点の総合点で競う。
- ・個人総合選手権：全種目の総合点で競う。
- ・種目別選手権：各種目の得点で競う。男女ともに跳馬は1試技の得点とする。

※ 0点は棄権ではなく得点として扱う。

※ 新技申請については、8月21日（金）2部校監督会議までに所定の用紙にて受付に提出すること。1部校の場合は、大会本部へのメールでの提出も可とする。ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

※ 表彰、通過に関する順位付け(タイブレーク)は、FIG 競技規則 2026 を適用する。

(5) 班編成および開始種目

・1部校

班編成は、令和7年度全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。

団体総合選手権の開始種目は、東・西インカレの団体総合得点に基づき決定する。

チーム個人選手で構成される班の組編成、開始種目は本部が決定する。

・2部校

班編成は、東・西インカレの順位により決定する。(男子は「東・西インカレ上位各3校」、女子は「東・西インカレ上位各2校」と「その他のチームから得点比較上位1校」により最終班を構成する。)

団体総合選手権の開始種目は、東・西インカレの団体総合得点に基づき決定する。

チーム個人選手、予選通過個人選手で構成される班の組編成、開始種目は本部が決定する。

・種目別選手権決勝

種目別選手権予選の成績により、班編成および試技順を決定する。

(6) 器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する（詳細は競技部報に記載する）。

8. 表彰

< 1 部校 >

- | | |
|---------------|---|
| (1) 団体総合選手権の部 | 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯
女子優勝校・・・高松宮妃記念杯
優勝旗、優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (3) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

< 2 部校 >

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (3) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

9. 帯同審判員派遣について (予定)

- (1) 本大会にチーム参加する大学は1種審判資格を有する下記の帯同審判員を派遣しなければならない。帯同審判員は、2部校と1部校すべての審判業務を行う。

< 男子 > (24名)

1部チーム出場校(12校)・・・1名

2部チーム出場校(12校)・・・1名

(可能な限り、カテゴリー2以上の審判員の派遣をお願い致します。)

< 女子 > (16名)

1部チーム出場校(10校)・・・1名

2部チーム出場校(今年度東西インカレ団体総合選手権上位各3校)・・・1名

2部チーム出場校(上記以外の4校)・・・0名

- (2) 帯同審判員に対する費用は、派遣する大学が全て負担しなければならない。
- (3) 学生を帯同審判員として派遣することもできる。
- (4) 審判員を派遣できない大学は、審判依頼費として60,000円をもって大会本部に依頼すること。また、派遣人数が割り当てられていない大学(女子2部得点比較出場4校、および、2部予選通過選手6名でチーム出場権を得た大学)は、審判依頼費として40,000円をもって大会本部に依頼すること。
- (5) (公財)日本体操協会審判委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (6) 各大学指導者(部長、監督、コーチ)を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (7) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

10. 補助役員について (1部校と2部校の補助役員は分ける) (予定)

- (1) 本大会に参加する1部校、2部校団体出場校は2名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。

- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,000円をもって大会本部に依頼すること。
本部依頼の場合は参加申込書の氏名欄に『本部依頼』と記入し、携帯電話欄にその理由も記入すること。
- (3) 派遣された補助役員は、それぞれ部別の競技運営に必要な業務を担当する。
(2部校派遣補助役員：セッティングから2部校③班競技終了まで)
(1部校派遣補助役員：1部校①班競技開始からカットイングまで)
※詳細な日程については、後日連絡する。
- (4) 本部への補助役員変更の連絡は、8月14日(金)までとする。ただし、監督会議後に特別な理由で派遣不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。
また、補助役員の変更による公文書の再発行は行わない。

1.1. 部別昇降について

- (1) 男女とも1部最下位1校が降格し、2部最上位1校が昇格する。
- (2) また、2部2位校の得点が1部の男子11位・女子9位の得点を上回った場合、これを入れ替える。同点による部別昇降の決定(序列)については『同点順位について』を適用する。

1.2. その他

- (1) 競技区域に入ることができる者は、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ、部長、監督、主務、トレーナーに限る。
※AD保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。
- (2) 部長、監督、主務は、競技中の競技区域内(部報参照)に入ることにはできない。音楽係は音楽席のみで活動できる。補欠は本会場練習終了以降、競技区域内に入ることにはできない。
- (3) 競技中に競技区域内で活動できるチームリーダーとコーチの数は以下の通りとする。
・チーム：最大2名まで(チームリーダー1名、団体コーチ1名)
・個人(同じ組に同一所属の選手が4名以上)：個人コーチ最大2名まで
・個人(同じ組に同一所属の選手が3名以下)：個人コーチ最大1名まで
- (4) 段違い平行棒専用コーチは、個人選手のコーチが1名で、段違い平行棒のロイター板を外す役割を担うコーチに対してのみ使用することができる。したがって、チームや個人でコーチが2名の場合は、本AD申請することができない。
- (5) トレーナー申請を希望する大学はAD申請書にあるトレーナーの欄に記入をし、本大会申し込み最終締め切り日までに提出すること。なお競技中は、救急対応などの場合の除き、原則として競技区域外で活動すること。
※トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。
- (6) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。(予定)
- (7) セッティングは2部校、カットイングは1部校の選手、補助役員全員参加とする。1日目の2部校本会場練習は、セッティングに参加した2部校の大学のみ出来るものとする。セッティング・カットイングに参加できない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。

- (8) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。
- (9) 大会中の演技の撮影は、撮影ビブス着用者にのみ許可する。なお、初日受付時、各大学に、各組最大出場選手数（男女各最大8枚）+男女1枚ずつ撮影ビブスの配布を行う。（保護者用を含む）。
- (10) 全日本インカレのプログラム広告確保について、要項末の記載を確認後、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

13. 参加申し込みについて

(1) 参加費

・1チーム	84,000円
・個人（1名につき）	14,000円
・帯同審判員依頼費（派遣義務のある大学）	60,000円
・審判依頼費（派遣義務のない大学）	40,000円
・補助役員依頼費（1名につき）	15,000円

※「保険料・救護費」については、参加費に含める。

- (2) HP上にある下記の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメールにて申し込むこと。

- ・参加申込用紙
- ・AD申請用紙
- ・プログラム用コメント用紙

(3) 締め切り期日

・1次締め切り（参加申込用紙、プログラム用コメント用紙）	7月 5日（日）18時必着
・最終締め切り（AD申請用紙）	7月12日（日）18時必着
・HP 部報掲載予定日	7月30日（木）

※期日を過ぎたものは一切受け付けない。

- (4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名（男女別）で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167060

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：齋藤 瑚夏

- (6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しない。
- (7) 本連盟は営利目的の団体でないため、インボイス制度の適格請求書発行事業者登録を行っていない。
- (8) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 （公財）日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第80回体操競技全日本インカレ大会宛

FAX 03-6455-4038

E-mail gym-gakuren@cm.jpn-gym.or.jp
HP <http://gymgakurenn.noor.jp>
担当者 (男子) 飛鳥井 麗王 (女子) 宮崎 栞